

1. 品川駅 えきまちガイドライン策定の背景

目指すべきまちの将来像

品川駅周辺は「品川駅・田町駅周辺まちづくりGL2020」において、

「これからの日本の成長を牽引する国際交流拠点・品川」

を将来像に掲げています。

▽出典：GL2020（東京都，2020）

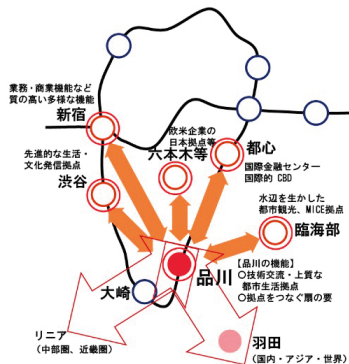
品川駅・田町駅周辺地域の将来像

■位置づけ

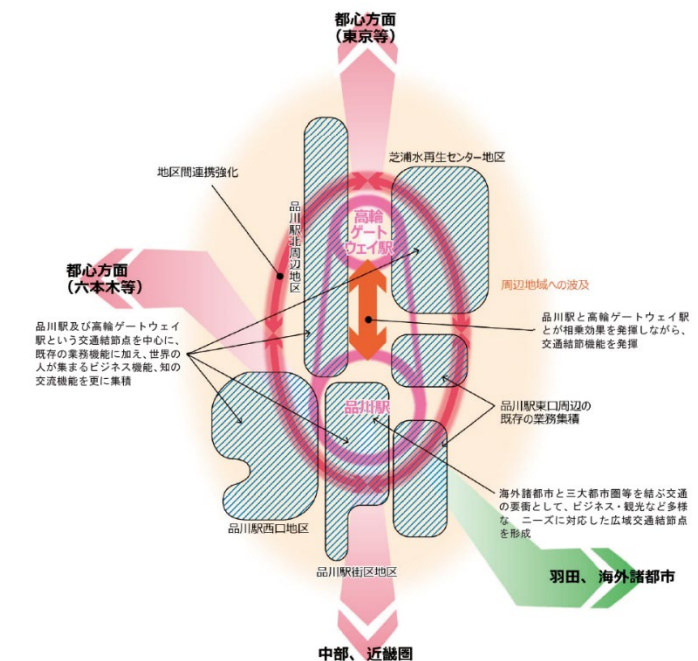
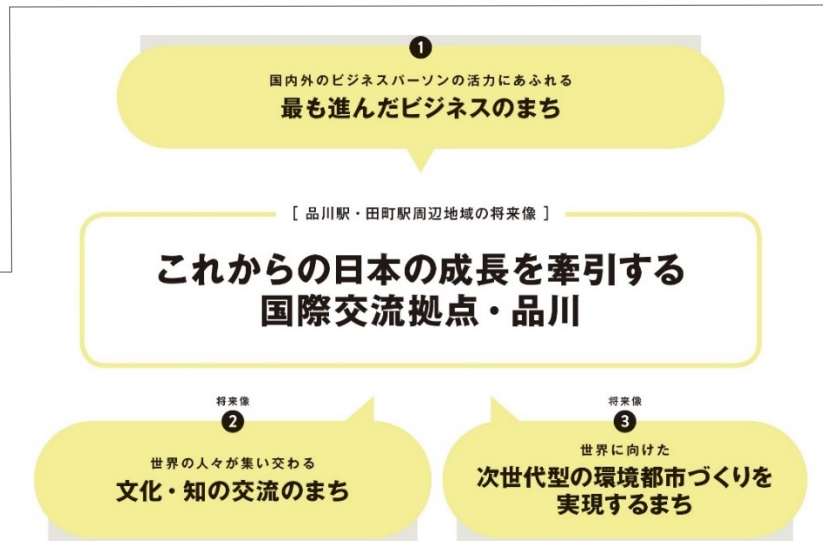
品川駅・田町駅周辺は「中枢広域拠点域」、「国際ビジネス交流ゾーン」に位置しており、リニア中央新幹線の始発駅となる品川駅周辺では、**駅の再編、環状4号線や歩行者ネットワークなどの都市基盤整備が進み、国内外の各都市とつながる利便性の高い広域交通結節点が形成**

■品川の役割・期待

- ・リニア中央新幹線の始発駅、羽田空港への玄関口でもある**広域的な交通結節点**
- ・JRの品川車両基地跡地の**大規模土地利用転換**
- ・特定都市再生緊急整備地域などの制度を活用し、**外国企業誘致を推進**、東海道軸にある高度な**モノづくり産業・技術と連携・融合**
- ・特に「モノづくり産業」の集積を活かし「BtoB」ビジネスによる**経済交流**
- ・観光立国・MICEの推進の拠点として、充実した自然環境、文化・観光機能の強化による**交流空間を形成**
- ・MICEの展開において強みである、宿泊機能と直結したワンストップサービス



< 海外都市や国内地方都市へのアクセス性が高く、職住が近接している品川において、**大丸有地区に並ぶ拠点**として、国内外のグローバルな成長企業による活力とそれを支える魅力的なライフスタイルの創出により、「**これからの日本の成長を牽引する拠点**」を形成 >



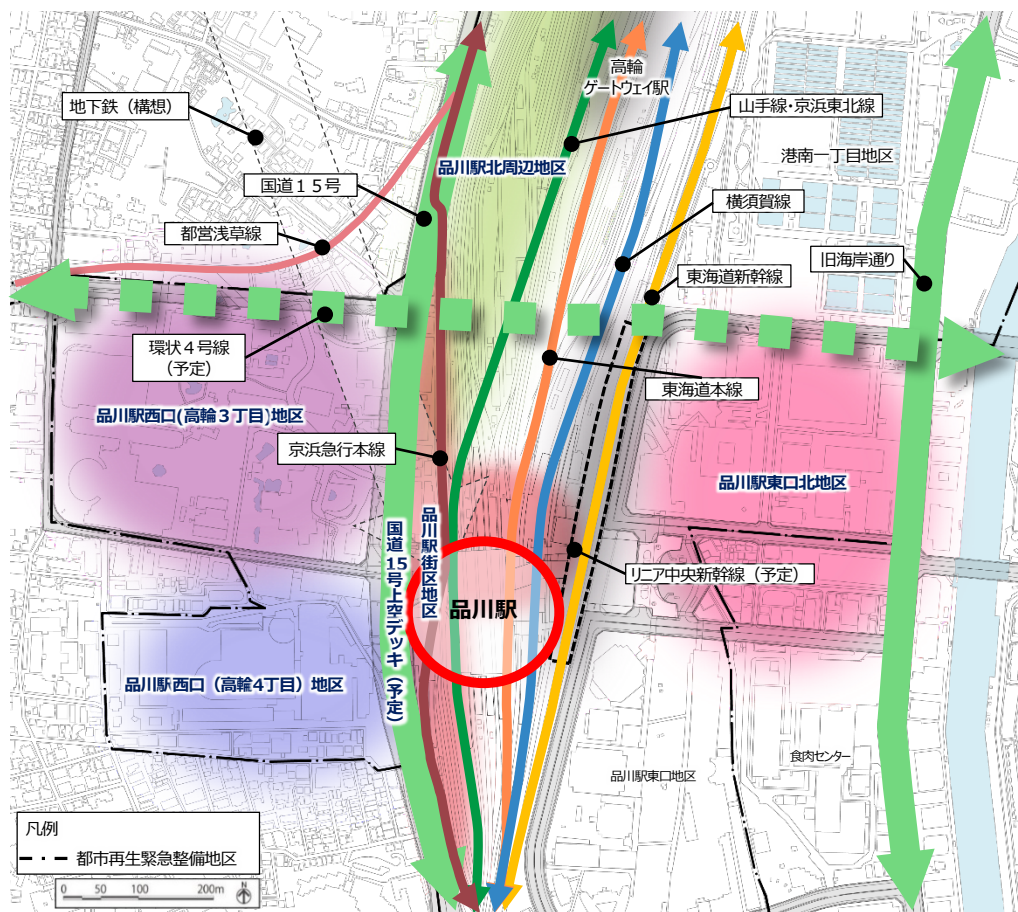
世界と日本をつなぐビジネスセンター、国際交流拠点の展開（イメージ）

1. 品川駅 えきまちガイドライン策定の背景

都市づくりの手法（多様な事業主体、段階的な都市更新）

品川駅周辺では、複数の都市基盤施設や大規模建築物の整備が予定されており、今後各事業者間での調和・連携を図ったまちづくりが求められます。

そこで、品川駅を中心とした景観・空間形成の目指すべき方向性等を示すものとして、「品川駅 えきまちガイドライン」を策定し、各開発計画案及び基盤整備事業等についての議論・調整が図られるよう運用していきます。



品川駅周辺の各地区の特性を活かしながら、全体で品川駅周辺のエリアポテンシャルを高める必要があります。「GL2020」では地域の将来像が示されており、異なる事業者によって各地区の将来像に向けたまちづくりを開発ごとに推進することによって、まちづくりガイドラインで示す「これからの日本の成長を牽引する国際交流拠点・品川」が実現されていきます。

文化と緑のゾーン（高輪側）

周辺地域と一体となった、緑や文化の魅力あふれる世界の人々をもてなす多様な機能を有する場

品川駅西口地区 国際業務・MICE

- 品川駅と一体となった、利便性の高い国際業務、MICE空間
- 歴史・文化や崖線の緑を活かした、国際性の高い交流と居住の場

東西をつなぐ交流のゾーン

国内外から人が集い、国際的な業務等、多様な都市活動を展開する場

品川駅北周辺地区 国際業務

- 規模を活かした国際競争力を高める国際業務、MICE空間
- にぎわいと都市力の向上に資する、国際性の高いビジネス拠点と文化交流施設、高質な商業・居住等の複合空間

品川駅街区地区 来訪者に分かりやすい玄関口

- 世界と日本各地からの人々を迎え入れる交通結節点
- 国際交流拠点として、機能的で分かりやすい駅周辺空間

海と風のゾーン（芝浦港南側）

水辺空間等を活かした、潤いと安らぎのある良質な複合市街地

品川駅東口地区 先進的で魅力的な複合市街地

- 優れた交通利便性や水辺空間との近接性等の特性を活かした、先進的で魅力的な複合拠点

△出典：GL2020（東京都，2020）
（品川駅周辺の地区を抜粋）